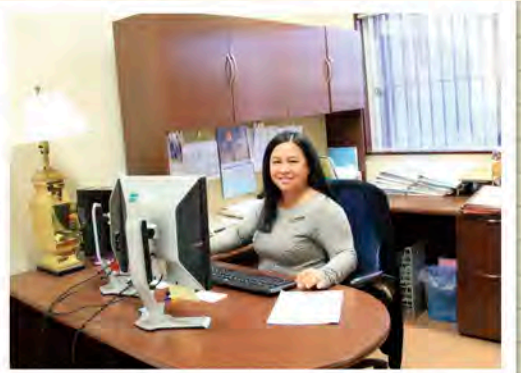


### 各地の職場から

今回は神奈川県厚木基地に勤務し活躍されている方々を紹介します。



#### プロフィール

お名前：滝澤 優介  
 職場名：厚木基地車両登録/バスオフィス  
 職種：管理専門職  
 趣味：食べ歩き、水泳、自転車

#### プロフィール

お名前：テビー・トレンティーノ  
 職場名：米海軍日本管区司令部 人事部厚木支所  
 職種：人事専門職  
 趣味：料理、お菓子作り、ガーテニング、読書

#### コメント

厚木基地は1945年8月30日に連合国軍最高司令官マッカーサー元帥が降り立った飛行場として知られており、日本が戦後復興を目指して大きく変貌を遂げる第一歩を踏み出した場所とされています。

そうした歴史のある厚木基地はその名称から神奈川県厚木市に所在しているイメージがありますが、実際には大和市と綾瀬市にまたがって所在しています。初めて厚木基地にいらした方々からは、厚木市にあるものだと思っていたという話をよく耳にします。私自身も、厚木基地で勤務する前までは厚木市にあるものだと勘違いしておりました。

私の勤務する事務所は厚木基地の正門の真横にあります。厚木基地を訪問する様々な方に基地入門に必要なパスを発行したり、新たに赴任してきた方のID(身分証)カードをデータベースシステムに登録したり、厚木基地に勤務する軍人及び軍属の車両情報を登録管理することなど、基地への円滑な入退門を支援することを主な任務としています。

日々の業務の中で、訪問者に必要書類の案内や、基地入退門に関する規則を説明する機会が多々あるため、私自身が基地の規則について熟知しておく必要があります。また規則が改定された際には速やかに周知徹底を図り、新しい規則に即して対応する柔軟性が求められます。そこに業務の難しさがあがり、またやり甲斐を感じる部分なのではないかと思えます。

厚木基地の正面玄関として、公私を問わず厚木基地を訪問される方々が最初に立ち寄る事務所であるので、失礼のないように常に冷静に丁寧な対応を心がけて日々の業務に励んでおります。厚木基地にお越しの際は、どうかお気軽にお声をおかけください。

#### コメント

こんにちは！私は厚木基地で働き始めてもうすぐ10年になります。最初はパートタイム従業員として働き始め、数年後に常用従業員になりました。私はフィリピン出身ですが、幸運なことに現在は家族と一緒に日本で暮らしています。私の二人の子供たちは日本で生まれ、家族全員美味しい食物が食べられ、安全な環境で暮らせる日本が大好きです。

多様性のある厚木基地で働くのが私にとっても大好きです。なぜなら様々な人種の人達に会えるからです。私はここで多くの友達に巡り合うことができました。時期が来ればアメリカ本国に帰らなければならない人もいますが、また新しい友達に巡り合うこともできます。日本に住んでいながら多様な文化に触れあえるのが厚木基地で働く醍醐味の一つだと思います。

現在は人事専門職として人事部厚木支所で働いています。私は主にアメリカ人軍属に対する人事サービスの提供業務を担当しています。私の具体的な業務は募集、採用、海外勤務手当等の処理業務だけに止まらず多岐に渡ります。人事関係の書類、例えばID(身分証)カード申請書、雇用証明書、任期延長申請書、出張命令書等の人事関係の文書に限らず様々な書類の準備をします。また新しく日本に赴任してきたアメリカ人従業員に対してオリエンテーション講習会を行い海外勤務手当やその他海外特有の人事制度の説明を行ったりします。私の仕事はネットワークシステムを通して、一人一人の従業員のために必要な個々の書類を作成したりまたは遠隔地で働く従業員のために事務処理のサポート業務を行っています。

毎日のほとんどの時間をパソコンでの作業、電話対応、メールの返信、各従業員や部隊からの問い合わせに費やしています。業務の地理的範囲は厚木基地だけではなく、三沢、岩国、沖縄、東京、そして日本国外で働く従業員に及びます。人事課で働き始めてまだ二年目ですが、毎日たくさん業務に集中するあまり、時間が早く過ぎていくことに気がつかないことが多々あります。しかし、常々職場の同僚に助けられていることに感謝しています。

多岐に渡る人事業務が学べるこの仕事が私は好きです。この人事の仕事はとて興味深いものがあり、毎日一人一人の従業員のそれぞれに異なる問題に向き合っているチャレンジ精神を生みだしてくれます。まだまだ学ばなければいけないことが山のようにありますが、自分が募集と採用に関わった従業員がアメリカ本国から日本に赴任して来て実際に顔と顔を合わせて会うことができることは本当に素晴らしい体験です。

厚木基地に赴任してきた従業員の方々がまず最初に行きなければならないのが私たちの事務所です。彼らの日本での海外勤務という大切な期間が少しでも滞りなく進むよう人事部スタッフの一員として最大限のサポートをしていきたいと思っています。